



第3回JGAルールテスト

練習問題 D

テスト時間：60分

100問四者択一方式(4つの選択肢から正解を一つだけ選択する)

注意事項

- ① 別途記述がなければ、設問はストロークプレーとする。
- ② 別途記述がなければ、設問はローカルルールが制定されていないものとする。
- ③ 別途記述がなければ、規則の重大な違反は生じていないものとする。
- ④ 正解は最新の「ゴルフ規則のオフィシャルガイド」に基づく。
- ⑤ 各設問の正解は一つのみ。
- ⑥ 個人で使用する目的以外で複製、頒布、二次使用は禁止する。

各設問の正解を一つ選んでください。

1. プレーヤーが罰を含む規則に違反したことを知っていて、故意にその罰を適用しなかった場合に適用される規則はどれか。
 - ① 1.3
 - ② 3.1
 - ③ 20.1
 - ④ 20.2

2. プレー禁止区域について規定している規則はどれか。
 - ① 2.1
 - ② 2.2
 - ③ 2.3
 - ④ 2.4

3. マッチプレーで、最終ホールを終えてマッチがタイの場合に適用する規則はどれか。
 - ① 3.1
 - ② 3.2
 - ③ 20.1
 - ④ 20.2

4. 不適合クラブで暫定球をストロークしたがその暫定球はインプレーにならなかった場合に罰はないことを規定する規則はどれか。
 - ① 4.1
 - ② 14.4
 - ③ 18.3
 - ④ 20.1

5. ストロークプレーのプレーオフは新しいラウンドとなることを規定している規則はどれか。
 - ① 3.2
 - ② 3.3
 - ③ 5.1
 - ④ 5.2

6. 球の一部がジェネラルエリアとペナルティーエリアの両方にある場合、球がどちらのコースエリアにあるかを決定する規則はどれか。
- ① 2.1
 - ② 2.2
 - ③ 17.1
 - ④ 17.2
7. プレーヤーが自分の球かどうか確認するために球を拾い上げる場合、球の箇所をマークしなければならないと規定する規則はどれか。
- ① 7.2
 - ② 7.3
 - ③ 9.4
 - ④ 14.1
8. 球のライに影響する自然物が分離しているかどうかを知るために動かすことができると規定している規則はどれか。
- ① 8.1
 - ② 8.2
 - ③ 6.1
 - ④ 6.2
9. プレーヤーがインプレーの球に故意に触れたが球が動かなかった場合について規定している規則はどれか。
- ① 9.1
 - ② 9.2
 - ③ 9.3
 - ④ 9.4

10. ストロークプレーでプレーヤーは共有のキャディーから、もう一人のプレーヤーが選んだクラブを尋ねることができるかと規定している規則はどれか。

- ① 10.1
- ② 10.2
- ③ 10.3
- ④ 3.1

11. プレーヤーの動いている球の方向をギャラリーが故意に変えた場合に適用する規則はどれか。

- ① 11.1
- ② 11.2
- ③ 11.3
- ④ 11.4

12. 球がパッティンググリーン上にあり、プレーの線上にある砂を取り除いた場合に適用する規則はどれか。

- ① 8.1
- ② 8.2
- ③ 13.1
- ④ 13.2

13. 救済エリアに正しい方法でドロップした球を、球が止まる前にプレーヤーのキャディーが故意に球を止めた場合に適用する規則はどれか。

- ① 10.1
- ② 10.2
- ③ 14.2
- ④ 14.3

14. 球がタオルの上に止まっているとき、罰なしの救済を受ける場合に適用する規則はどれか。

- ① 15.1
- ② 15.2
- ③ 15.3
- ④ 15.4

15. バンカー内の球をプレーする前に動かせる障害物を取り除く場合に適用する規則はどれか。

- ① 12.3
- ② 13.1
- ③ 15.2
- ④ 16.3

16. ペナルティーエリアの球に対して、地面に食い込んでいる球の救済がないことを規定している規則はどれか。

- ① 16.2
- ② 16.3
- ③ 17.2
- ④ 17.3

17. 暫定球のプレーであることを「明確に示す供述」を規定している規則はどれか。

- ① 1.2
- ② 3.1
- ③ 18.3
- ④ 19.3

18. ジェネラルエリアの球に対するアンプレヤブルの後方線上の救済を規定している規則はどれか。

- ① 19.1
- ② 19.2
- ③ 19.3
- ④ 19.4

19. ストロークプレーで競技が終了した後であってもプレーヤーを失格としなければならないケースが規定されている規則はどれか。

- ① 1.3
- ② 3.2
- ③ 3.3
- ④ 20.2

20. 複数のプレーヤーやサイドがチームとして競技する場合、チームにアドバイスを与えることが認められている人を規定している規則はどれか。

- ① 21.4
- ② 22.4
- ③ 23.4
- ④ 24.4

21. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 境界がフェンスポストで定められる場合、境界線はそのフェンスポストの支柱のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
- ② 境界を地面に塗られた線で定める場合、その線自体はアウトオブバウンズである。
- ③ 境界杭は白色としなければならない。
- ④ アウトオブバウンズから生長している樹木のインバウンズにある部分はアウトオブバウンズである。

22. 次のうち、誤っているものはどれか。

- ① ストロークを行うために使用したクラブをこれからプレーするプレーヤーに見せる。これはアドバイスに該当する。
- ② 「向かい風だから、水域を超えるには 250 ヤード必要だよな？」とこれからプレーするプレーヤーにコメントする。これはアドバイスに該当する。
- ③ 「私だったらアンプレヤブルの処置をするよ。」とこれからプレーするプレーヤーにコメントする。これはアドバイスに該当する。
- ④ 規則違反をしたプレーヤーにその違反の罰を教える。これはアドバイスに該当する。

23. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 救済エリアを決定するためにクラブレングスを使用する場合、溝、穴を直接越えて計測することはできない。
- ② 救済エリアを決定するためにクラブレングスを使用する場合、自然にうねった地面を通して計測することはできない。
- ③ 救済エリアを決定するためにクラブレングスを使用する場合、フェンス、壁を通して計測することはできない。
- ④ 救済エリアを決定するためにクラブレングスを使用する場合、木の中を通して計測することはできない。

24. 次のうち、「コース」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「委員会が設定した()の内側のすべてのプレーエリア。」

- ① インバウンズ
- ② 区域
- ③ 境界の縁
- ④ アウトオブバウンズを定める線

25. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ダウンスイングの途中でクラブヘッドがシャフトから外れた。プレーヤーは球に届く前にダウンスイングを止めたが、クラブヘッドが落下して球に当たって動かしてしまった場合、ストロークとしてカウントする。
- ② バックスイングの途中でクラブヘッドがシャフトから外れた。プレーヤーはシャフトでダウンスイングを終えたが、球を打たなかった場合、ストロークとしてカウントする。
- ③ ダウンスイングを始めた後でクラブヘッドが木の枝に挟まり、止められた場合、ストロークとしてカウントする。
- ④ 練習スイングをしているときや、ストロークをする準備をしている間に偶然球を打った場合、ストロークとしてカウントする。

26. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ティーは4インチ以下の長さで、用具規則に適合していなければならない。
- ② ティーは4.25インチ以下の長さで、用具規則に適合していなければならない。
- ③ ティーは6インチ以下の長さで、用具規則に適合していなければならない。
- ④ ティーは6.25インチ以下の長さで、用具規則に適合していなければならない。

27. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 委員会は作られた砂の区域をジェネラルエリアの一部として定めたり、作られていない砂の区域をバンカーとして定めることができる
- ② バンカーの素材として使用する砂に類似する素材(例えば粉碎された貝)で作られた砂の区域はバンカーではない。
- ③ バンカーとして作られた区域の縁の外側にある、または飛び散っている砂はバンカーの一部である。
- ④ バンカーが修理中で委員会がそのバンカー全体を修理地として定める場合、そのバンカーはペナルティーエリアの一部として扱われる。

28. 次のうち、球が触れている場合、「ライ」となるものはいくつあるか。

- ・動かせる障害物
- ・不可分な物
- ・生長している自然物
- ・境界物

- ① 0
- ② 1つ
- ③ 2つ
- ④ 3つ

29. 次のうち、「レフェリー」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「()を決定し、規則の適用をするために委員会が指名したオフィシャル」

- ① 事実
- ② 事実問題
- ③ 事実関係
- ④ 実際に起きた事実

30. 次のうち、基点が「完全な救済のニヤレストポイント」になるのはいくつあるか。

- ・目的外グリーンから救済を受ける場合
- ・直前のストロークを行った場所(ジェネラルエリア)から次のストロークを行う場合
- ・パッティンググリーン以外のコース上の場所で、球が動かせる障害物の中や上にある場合の救済を受ける場合
- ・バンカーのアンプレヤブルの球に対する救済を受けるために 2 罰打でバンカーの外側で後方線上救済を受ける場合

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

31. 次のうち、「スコアカード」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「()、各ホールのプレイヤーのスコアを記入するカード。」

- ① 競技会で
- ② プレーヤーが
- ③ ストロークプレーで
- ④ マーカーが

32. 次のうち、「分かっている、または事実上確実」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「・・・合理的に入手可能なすべての情報は、問題になっている出来事の起きた可能性が()であることを示している。」

- ① 90%以上
- ② 95%以上
- ③ 事実
- ④ 確定的

33. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 境界物はその一部を動かすことができたとしても、動かさないものとして扱われる。
- ② 境界物は不可分な物である。
- ③ 境界物には境界フェンスに取り付けられた支柱を含む。
- ④ 境界物は境界フェンスの基礎は含まない。

34. 次のうち、誤っているものはどれか。

- ① プレー禁止区域から球をプレーすることは、誤所からのプレーである。
- ② ドロップした球を所定の救済エリアの外からプレーすることは、誤所からのプレーである。
- ③ 規則がリプレースを求めているのにリプレースせずにプレーすることは、誤所からのプレーである。
- ④ ホールのプレーをスタートする時に、ティーイングエリアの外から球をプレーすることは、誤所からのプレーである。

35. 次のうち、委員会が「修理地」として定めていなかったとしても「修理地」になるものはどれか。

- ① エアレーションホールの穴
- ② バーチカルモウイングの溝
- ③ グリーンキーパーの作業車で作った轍
- ④ ジェネラルエリアにあるペナルティーエリアを定めた杭が抜かれた穴

36. 次のうち、「動かせる障害物」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「()その障害物やコースを損傷させずに動かすことができる障害物。」

- ① 不合理な努力なしでは
- ② 合理的な努力で
- ③ 合理的な判断で
- ④ 合理的な選択で

37. 次のうち、「動かせない障害物」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「次の障害物をいう：

・()、またはその障害物やコースを壊さずには動かすことができない。」

- ① 特別な労力を要せずには
- ② 他の人の力を借りずには
- ③ 不合理な努力なしには
- ④ 特別な努力なしには

38. 次のうち、「動物の穴」に該当するものはいくつあるか。

- ・昆虫が作った穴
- ・動物の穴に通じるすり減った獣道
- ・動物が地下に穴を掘った結果盛り上がった地面
- ・動物の足跡

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

39. 次のうち、正しいものはどれか

- ① 目的外グリーンはジェネラルエリアである
- ② コース外にある練習グリーンは目的外グリーンである
- ③ 臨時のグリーンが使用されている場合の通常のグリーンは目的外グリーンではない
- ④ 目的外グリーンにはカラー部分を含む

40. 次のうち、「不可分な物」の定義の空欄に入る文言はどれか。

「委員会がコースをプレーする上で()として定めた罰なしの救済が認められない人工物」

- ① 必要な物
- ② 不可欠な物
- ③ 挑戦の一部
- ④ 技術の一部

41. 18 ホールのラウンド中に、全てのホールでパッティンググリーン上からパターでストロークする際にアンカリングをしてストロークをした。この場合の罰はどれか。

- ① 違反が起きた各ホールに対し一般の罰
- ② 違反が起きた各ホールに対し一般の罰、1 ラウンドで最大4 罰打
- ③ アンカリングをしたストローク全てに一般の罰
- ④ アンカリングの最初の違反で一般の罰、2 回目の違反で失格

42. ペナルティーエリアの中にある球の近くにあるルースインペディメントをクラブで取り除いた。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 3 罰打

43. マッチプレーで、プレーヤーは相手が使ったクラブの番手を尋ねてさらに風向きを尋ねた。この場合の罰はどれか。

- ① 1 罰打
- ② 2 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

44. プレーヤーは、ペナルティーエリアの中にある球を捜索中偶然に動かしてしまった。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 3 罰打
45. 他のプレーヤーのクラブで、ティーイングエリアの外からプレーした。その後、プレーヤーのクラブでティーイングエリアから球をプレーすることによってその誤りを訂正した。この場合の罰はどれか。
- ① 一般の罰
 - ② 3 罰打
 - ③ 4 罰打
 - ④ 失格
46. プレーヤーは異常なコース状態からの救済を受け、別の異常なコース状態の中にあるプレー禁止区域に球をドロップした。その後、プレー禁止区域の異常なコース状態から救済を受けた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 4 罰打
47. ラウンド中、不適合クラブで練習スイングを 1 回行った。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格

48. 球の箇所を事前にマークせずに、パッティンググリーン上でホールに向けて商標マークを合わせるためにその球を回転させた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 2 罰打
 - ④ 3 罰打
49. プレーヤーの球は木の上であり、その球をプレーするつもりであった。ストロークのための準備をしている間に、そのプレーヤーは偶然にその球を木から落としてしまった。プレーヤーが規則 19 の救済を受ける場合の合計の罰はどれか。
- ① 1 罰打
 - ② 2 罰打
 - ③ 3 罰打
 - ④ 4 罰打
50. マッチプレーのスタート前に、プレーヤーはコース上のバンカー内で練習をした。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 最初のホールに 2 罰打
 - ③ 最初のホールの負け
 - ④ 失格
51. プレーヤーの球は目的外グリーン上にあった。プレーヤーは目的外グリーンからパターを使用してストロークしたが、球は数ヤードしか転がらず再び目的外グリーンの上に止まった。プレーヤーはウェッジを使用して目的外グリーンから再度ストロークをして球は目的外グリーンの外側に止まった。この場合の合計の罰打はどれか。
- ① 一般の罰
 - ② 3 罰打
 - ③ 4 罰打
 - ④ 5 罰打

52. プレーヤーは球をドロップする救済エリア内にあるルースインペディメントを取り除いた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 4 罰打
53. プレーヤーがティーイングエリアからストロークした球はイエローペナルティーエリアから溢れた一時的な水の中にあった。プレーヤーはペナルティーエリアの救済が受けられると勘違いし、別の球をホールと元の球を結んだ後方線上 30 ヤードの一時的な水がないジェネラルエリアの箇所にもドロップし、プレーした。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 4 罰打
54. パットिंगグリーン上の球をリプレースした後、球が風によって少し動いた。その後球をリプレースしないで新しい箇所からストロークをした。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 4 罰打
55. プレーヤーは自分の球の近くにあったルースインペディメントを動かすように観客に頼んだ。観客がルースインペディメントを動かした結果、プレーヤーの球は動いた。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格

56. プレーヤーは球をパターヘッドの背面でかき寄せてホールに入れた。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

57. プレーヤーの球はバンカーの中にあり、そのプレーヤーは練習スイングを数回行い、その都度そのバンカーの砂に触れた。別のプレーヤーがそのプレーヤーに練習スイングで砂に触れることは規則違反であると忠告した。プレーヤーは同意せずに、ストロークを行う前にさらに練習スイングを数回行い、再びバンカーの砂に触れた。この場合の罰はどれか。

- ① 一般の罰
- ② 4 罰打
- ③ 6 罰打
- ④ 失格

58. プレーヤーがストロークした球が偶然にプレーヤーのキャディーに当たった。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

59. マッチプレーで、ホールのプレー中プレーヤーA は相手に間違ったストローク数を教えた。相手が次のストロークを行う前にプレーヤーA は間違ったストローク数を訂正して正しいストローク数を伝えた。この場合の罰はどれか。

- ① 罰なし
- ② 1 罰打
- ③ 一般の罰
- ④ 失格

60. プレーヤーは規則に基づいて球をドロップしなければならなかったが、救済エリアにプレースしてストロークをした。この場合の罰はどれか。
- ① 罰なし
 - ② 1 罰打
 - ③ 一般の罰
 - ④ 失格
61. 2 人のプレーヤーが適用することを知っている規則や罰を故意に無視することに合意する場合、次のうち、正しいものはどれか。
- ① その合意がラウンド前に行われたとしても、その合意をした時点でプレーヤーたちは失格となる。
 - ② その合意がラウンド前に行われた場合で、ラウンドをスタートした後にその合意した行動を実行していなければ罰はない。
 - ③ その合意がラウンド前に行われた場合でも、その合意に関与したプレーヤーの誰か 1 人がそのラウンドを始める前にその合意を破棄した場合、プレーヤーたちに罰はない。
 - ④ その合意がラウンド前に行われた場合で、ラウンドをスタートした後にその合意をした行動を実行していなかったときは、その合意に関与したプレーヤー全員は一般の罰を受ける。
62. マッチプレーで、相手が待ち時間が終了する前にホールにせり出しているプレーヤーの球を故意に拾い上げた場合について正しいものはどれか。
- ① 相手は一般の罰、プレーヤーは直前のストロークでホールアウトしたもものとして扱われる。
 - ② 相手に罰はなく、プレーヤーは元の球か別の球をホールのへりにリプレースしなければならない。
 - ③ 相手とプレーヤーどちらにも罰はなく、プレーヤーは直前のストロークでホールアウトしたもものとして扱われる。
 - ④ 相手は失格となる。

63. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① マッチプレーでは誤所からのプレーの重大な違反の規定は適用されない。
- ② 誤所からのプレーの重大な違反があった場合、マーカ―に速やかにそのことを伝えなければならない。
- ③ 誤所からのプレーの重大な違反があると考えて 2 つの球をプレーする場合、マーカ―にそのことを伝えないと失格となる。
- ④ 誤所からのプレーの重大な違反があるかどうかの裁定はプレーヤーとマーカ―の同意による訴えに対して委員会がその自由裁量権で裁定をすることになり、その裁定についてプレーヤーに上訴をする権利はない。

64. 次のうち競技が終了した後でも失格とするものはどれか。

- ① プレーヤーに参加資格がなかったことが競技終了後に発覚した。
- ② プレーヤーが提出したスコアカードに実際のハンディキャップより多いハンディキャップが書かれていることを競技が終了する前にそのプレーヤーが知っていたが、プレーヤーのスコアを調整するために使用されたハンディキャップストローク数に影響を与えなかった。
- ③ プレーヤーがスコアカードを提出する前には受けていたことを知らなかった罰打を含めなかったことにより 1 つのホールスコアが実際のスコアより少なかった。
- ④ プレーヤーが、競技終了前に、罰が失格となる他の規則に違反することを知っていた。

65. 「特定のコースエリア」はいくつあるか。

- ① 2つ
- ② 3つ
- ③ 4つ
- ④ 5つ

66. 次のうち、「分かっている、または事実上确实」の基準で決定するものはいくつあるか。

- ・ペナルティーエリアの中に球が止まったか推定する場合
- ・バンカー内で球が紛失したと決定する場合
- ・風によって球が動かされたら決定する場合
- ・外的影響によって球が動かされたら決定する場合

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

67. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ストロークの妨げになるルースインペディメントの一部を折ることはできない。
- ② ルースインペディメントを取り除くときに他人からの援助を受けることはできない。
- ③ これからドロップすることになる救済エリア内のルースインペディメントは取り除くことはできない。
- ④ スタンスの邪魔になるアウトオブバウンズにあるルースインペディメントは動かすことができる。

68. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーは選択したストロークのためのスタンスをとる唯一の方法の場合でも、後ずさりや杖や境界物のある場所に入っていくことは認められない。
- ② プレーヤーの球がペナルティーエリア内のプレー禁止区域にあるときは、常に規則 16.1 に基づく救済を受けなければならない。
- ③ パッティンググリーン上の古いホールの埋跡を修理する場合、同時に罰なしに周囲のスパイクマークを修理することができる。
- ④ ジェネラルエリアでプレーヤーが規則に基づいて球を拾い上げた後、別のプレーヤーが球のライを変えた。この場合、プレーヤーは変えられたライを復元して元の箇所に戻す必要がある。

69. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 18 ホールのマッチプレーで、18 ホールを終えてもタイの場合、別途競技規定で決めていなければ、そのマッチはタイとなる。
- ② ストロークプレーのプレーオフは別のラウンドとなる。
- ③ ラウンド前のコース上での練習の制限はプレーヤーとキャディーだけに適用される。
- ④ ストロークプレーでは、プレーヤーはその日の自分の最終ラウンドのプレー終了後にそのコースで練習することはできない。

70. 次のうち、プレーヤーと他のプレーヤーがペナルティーエリアから救済を受けた後のプレーの順番に関して正しいものはどれか。

- ① プレーの順番は元の球があった箇所に基づく。元の箇所がわからない場合は推定した箇所に基づく。
- ② プレーの順番は救済を受けた後の箇所に基づく。
- ③ プレーの順番はそのホールでティーイングエリアからストロークした順番に基づく。
- ④ プレーの順番に関する規定はない。

71. 次のうち「重大な非行」となる可能性があるのはどれか。

- ① パッティンググリーンへ深刻な損傷を故意に与える。
- ② ゴルフバッグに向けてクラブを投げた結果、偶然に人に当たる。
- ③ 携帯電話が突然鳴り、他のプレーヤーのショットに影響する。
- ④ バンカーショットをした後にその場所を均し忘れる。

72. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 委員会は規則とは異なる方法で罰を適用する権限はない。
- ② プレーヤーの球がストロークした後に複数に割れた場合、1 罰打でそのストロークを行った所から別の球をプレーすることができる。
- ③ ストロークを行う準備をしている間にクラブで球に故意に触れたが球は動かなかった。この場合罰はない。
- ④ プレーヤーが自分の頭上に傘をさしたまま、ストロークを行った場合、そのプレーヤーは一般の罰を受ける。

73. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 球がジェネラルエリアとペナルティーエリアの両方に触れている場合、その球はジェネラルエリアの球である。
- ② 球がバンカーとペナルティーエリアの両方に触れている場合、その球はバンカー内の球である。
- ③ 球がジェネラルエリアとバンカーの両方に触れている場合、その球はジェネラルエリアの球である。
- ④ 球がバンカーとパッティンググリーンの両方に触れている場合、その球はバンカー内の球である。

74. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ティーイングエリアからストロークを行う前に、プレーヤーはティーイングエリアの地面に成長している草を曲げてストロークに影響を及ぼす状態を改善することができる。
- ② プレーヤーが球をドロップすることになる救済エリアのディボットをディボット跡に戻すことができる。
- ③ ジェネラルエリアからストロークを行う前に、球の後ろにある起伏のある面を押し付けてストロークに影響を及ぼす状態を改善した場合、罰はない。
- ④ プレーの中断中にストロークに影響を及ぼす状態を改善しても罰はない。

75. 次のうち、「プレーヤーは委員会が設定したスタート時間にスタート地点でプレーをすぐに始めることができる状態であればならない」について正しいものはどれか。

- ① スタート時間が 9 時 00 分と設定されているプレーヤーのスタート時間には 9 時 00 分 01 秒も含まれる。
- ② 「プレーをすぐに始めることができる状態」とは 1 本のクラブ(ただしパターは除く)と 1 つの球を持ってスタート地点にいる状態を意味する。
- ③ この規則でいう「スタート地点」とはプレーヤーが自分のラウンドを始めるホールのティーイングエリアのことである。
- ④ 合理的な理由なしにスタート時間より早くプレーした場合は、競技の行われるコース上で練習したことになり、失格となる。

76. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーが自分の球がホールをプレーしている間に識別マークのペイントが剥がれたと合理的に考える場合、別の球に取り替えることができる。
- ② ストロークプレーのプレーオフは同じラウンドが継続しているのであり新しいラウンドではない。
- ③ プレーヤーとマーカーが本来の署名欄とは逆の欄にそれぞれサインしてホールのスコアを証明した場合、そのプレーヤーのスコアは規則 3.3 に基づく要求の通り証明されたことにはならず、訂正を行わなければならない。
- ④ 球をドロップする前に、救済エリア内のルースインペディンメントを取り除くことができる。

77. 次のうち、ストロークに影響を及ぼす状態を改善したとしても罰がないのはどれか。

- ① パッティンググリーン上で球の直前に軽くクラブを置く。
- ② フェアウェイの球の直後にある砂を払い除ける。
- ③ すでに戻されているディボットを取り除く。
- ④ プレーの線上でパッティンググリーン上にある露を払い除ける。

78. プレーヤーのティーショットは雑木林の中に止まった。プレーヤーは落ちていた球を遺棄された球だと思って拾い上げたが、その球は自分のインプレーの球であることが分かった。プレーヤーはその後でストロークと距離の救済を受けることに決めてティーイングエリアに戻った。プレーヤーの次のストロークは何打目となるか。

- ① 2 打目
- ② 3 打目
- ③ 4 打目
- ④ 5 打目

79. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 壊れてバラバラになったクラブを持ってラウンドを始めたとしても 14 本のうちのクラブとしてはカウントしない。
- ② クラブの追加が認められる場合、そのクラブをプレーヤーのバッグに入れた時点で追加したことになる。
- ③ ラウンド中、ストロークをしたらヘッド内部の物質が壊れ、そのヘッド内でカタカタと音が鳴った場合、そのクラブは不適合クラブとなる。
- ④ ラウンド中にクラブの性能を故意に変えた場合は失格となる。

80. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーの球が止まった後に、他のプレーヤーがプレーした球で作られたジェネラルエリアのピッチマークによって球のライが悪化した場合、プレーヤーの承認なしにキャディーが悪化した状態を復元することができる。
- ② プレーヤーはペナルティーエリアから救済を受ける場合、異常なコース状態の中にあるプレー禁止区域の中に球をドロップすることはできない。
- ③ 球がペナルティーエリアの中にあり、意図するスタンス区域がペナルティーエリアの外側の動かせない障害物による障害がある場合、救済を受けることができる。
- ④ ひとつのボールマークによる損傷がパッティンググリーン上とパッティンググリーン外の両方にまたがっている場合、その損傷した区域全体を修理することができる。

81. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① パッティンググリーン面をテストする意図を持ってパッティンググリーン面に手を置いても罰はない。
- ② パッティンググリーン上で一時的な水からの罰なしの救済を受けてそのパッティンググリーン上にリプレースした球が風で動いた場合、その球は罰なしに新しい位置からプレーしなければならない。
- ③ パッティンググリーン上で、プレーヤーがうっかりクラブを落とした結果、自分のボールマーカを動かしてしまった場合、規則に基づく処置に直接的には結び付けられない行動なので 1 罰打を受ける。
- ④ ホールの自然な摩耗はパッティンググリーン上の損傷として修理することができる。

82. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーA と B が 1 人のキャディーを共有していた。ショートホールでプレーヤーB は、プレーヤーA の選んだクラブをキャディーに尋ねた場合プレーヤーB は一般の罰を受ける。
- ② 規則を知らずにプレーヤーA はプレーヤーB に、プレーヤーA のプレーの線上にある木の枝を折るように要請し、プレーヤーB がそれに従った場合、A と B どちらも一般の罰を受ける。
- ③ プレーヤーの球が毒ツタやサボテンなど身体に危害を及ぼす可能性のある植物の障害のある箇所止まった場合、プレーヤーは罰なしに救済を受けることができる。
- ④ スイニング補助器具のアライメント棒を使用し、ラウンド中に一般的なストレッチを行った場合、プレーヤーは一般の罰を受ける。

83. レッドペナルティーエリアに対する後方線上の救済の救済エリアの場所に関し、正しいものはどれか。

- ① コース上のどのエリアでも良い。
- ② そのレッドペナルティーエリア以外であればコース上のどのエリアでも良い。
- ③ ジェネラルエリアでなければならない。
- ④ ペナルティーエリア以外であればコース上のどのエリアでも良い。

84. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 誤所からのプレーに重大な違反があったかを判断する場合、プレーの線上にある邪魔な物の影響は考慮すべきだが、そのストロークの難易度は考慮する必要ではない。
- ② 誤所からのストロークを重大な違反があったかどうかは、分かっているまたは事実上確実の基準でプレーヤーが判断する。
- ③ マッチプレーでプレーヤーのストロークに誤所からのプレーの重大な違反があった場合、プレーヤーはそのマッチの負けとなる。
- ④ プレーヤーの球の近くにおいてストロークすると損傷する可能性のある鳥の巣は修理地である。

85. 次のうち、ラウンド中に使用することが認められない物はどれか。

- ① 方向を調べるコンパス
- ② 湿度計
- ③ 松脂
- ④ 風向きを調べるためのハンカチ

86. 次のうち、規則の目的の空欄に入る文言はどれか。

「規則に違反した場合は、マッチプレーの相手やストロークプレーの他のプレーヤーたちよりも()を得ることがないように自分自身で罰を適用する責任がある。」

- ① 潜在的な利益
- ② 排他的な利益
- ③ 有利な状況
- ④ 顕在的な利益

87. 通常のプレーの中断があった場合、ホールのプレーを続けるのか、その場で止めるのかを決めるために通常認められる時間はどれか。

- ① 2分以内
- ② 3分以内
- ③ 4分以内
- ④ 5分以内

88. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 相手や別のプレーヤーはプレーヤーの要請にかかわらずプレーヤーの球を探すことができる。
- ② プレーヤーは他の人たちに自分の球を捜さないように依頼することはできない。
- ③ 元の球がアンプレヤブルの場合、暫定球をインプレーの代わりにすることができる。
- ④ 「もう一回打ちます」と発声すれば暫定球の宣言として認められる。

89. ティーショットした球がレッドペナルティーエリアに入った場合、罰ありの救済の選択肢はいくつあるか。

- ① 2
- ② 3
- ③ 4
- ④ 5

90. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーが拾い上げた球は、プレーヤー以外の人がりプレースすることはできない。
- ② プレーヤーが突然の病気やケガに見舞われ症状を緩和するために処置を繰り返し受ける場合、その都度 15 分までの時間が認められる。
- ③ プレーヤーが他のプレーヤーの援助となる球を拾い上げてふいた場合罰を受ける。
- ④ 2 分間搜索した後でプレーヤーは深いラフの中で球を見つけ自分の球と確認したが、クラブを取りに行き戻った時にその球を見つけることができなかった。プレーヤーは一度球を見つけているので残り 1 分以内に球を見つけられなくても紛失とはならない。

91. ストロークプレーで、正しい処置について疑問があり 2 つの球をプレーする処置について正しいものはどれか。

- ① 2 つの球をプレーすることを次のストロークを行う前に決めなければならない。
- ② 2 つの球をプレーすることをマーカーに告げなければならない。
- ③ 2 つの球をプレーする順番はホールから遠い方の球からプレーしなければならない。
- ④ 2 つの球をプレーする場合、どちらの球を採用したいかをマーカーに告げなかった場合は失格となる。

92. ローカルルールで施行が不適切なものはどれか。

- ① ジェネラルエリアのフェアウェイの長さかそれ以下に刈られた部分の全ての区域でプリファードライを使うことを認める。
- ② スコアカードに合計スコアを記入することを義務づける。
- ③ 地面のひび割れの箇所を異常なコース状態とする。
- ④ 動かされた球をリプレースしなかった一般の罰を 1 罰打に変える。

93. マッチプレーの裁定の要請について正しいものはどれか。

- ① 裁定の要請は相手のプレーにどのように規則を適用するかを委員会に決定してもらう目的以外には行えない。
- ② マッチの結果が最終となった後の裁定の要請はいかなる場合も受理されない。
- ③ すでに終了したホールについての裁定を要請した場合、相手が罰について正しく報告しなかった場合についてのみ、委員会は裁定を行う。
- ④ マッチの最終ホールをプレー中の裁定の要請はマッチの結果が最終となる前にしなければならない。

94. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① ストロークプレーのプレーオフでは、どちらか一方が負けを認めた場合でももう一方のプレーヤーはホールアウトしなければならない。
- ② 委員会は競技会が速やかなペースでプレーされるようにする責任がある。
- ③ レフェリーは、規則に違反しそうになっているプレーヤーに警告する義務がある。
- ④ プレーヤーのゲームの精神に反する行為について、委員会はプレーヤーに対して段階的な罰を与えることができる。

95. 適合ドライバーヘッドのローカルルールが適用とならないドライバーはどれか。

- ① 1999 年より前に製造されたドライバー
- ② 2000 年より前に製造されたドライバー
- ③ 2010 年より前に製造されたドライバー
- ④ 2011 年より前に製造されたドライバー

96. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① プレーヤーが規則に基づいて救済を受けるという結論になることが合理的である場合に限り、そのプレーヤーのキャディーは球を拾い上げることの承認を与えられたものとして扱われ、罰なしに球を拾い上げることができる。
- ② プレーヤーは一度に複数のキャディーを使用することができる。
- ③ プレーヤーは一時的にアドバイスを受けるためにラウンドの途中でキャディーを替えることができる。
- ④ ストロークプレーで、組のプレーヤーの一人がラウンド中に棄権した場合、その棄権したプレーヤーはその組の別のプレーヤーのキャディーとなることはできない。

97. 臨時の動かさない障害物(以下 TIO)のローカルルール(F-23)に関して正しいものはどれか。

- ① TIO からの救済はすべて罰なしの救済である。
- ② 球が TIO の中で紛失した場合、救済の基点は球がその TIO の縁を最後に横切った地点である。
- ③ 球が TIO に触れている場合、常に救済を受けることができる。
- ④ TIO の前にある球は物理的な障害が生じることはあっても、介在の障害は生じない。

98. 次のうち、ドロップゾーンを救済の選択肢として使用することが認められる物はいくつあるか

- ・目的外グリーン
- ・動かさない障害物
- ・アンプレヤブルの球
- ・危険な動物の状態

- ① 1つ
- ② 2つ
- ③ 3つ
- ④ 4つ

99. 次のうち、正しいものはどれか。

- ① 同日に 2 ラウンド以上プレーされる場合、ティーイングエリアの場所をラウンド間で変えることはできない。
- ② ホールロケーションの選択では、ホール周辺 2~3 フィート(60~90cm)が比較的平らな区域にホールは設置されるべきである。
- ③ 委員会はいかなる場合でも、マッチプレーのラウンド中にある区域を修理地として定めることは認められない。
- ④ ラウンド中、ティーマーカーが誰かによって動かされ、そのことで著しく有利や不利になったプレーヤーがいなくても、委員会はラウンドを取り消さなければならない。

100. プレーヤーは境界物がスイング区域の障害になっていたため規則 16.1 に基づいて境界物から離れた場所に救済を受けた。委員会がこのプレーヤーの行動に基づいて裁定を行う場合、適用となる規則はどれか。

- ① 規則 9.4
- ② 規則 16.1
- ③ 規則 19.1
- ④ 規則 20.3



第3回 JGA ルールテスト

練習問題 D 正解

1	①	21	②	41	③	61	③	81	①
2	④	22	④	42	①	62	③	82	②
3	②	23	②	43	③	63	①	83	②
4	①	24	③	44	①	64	④	84	④
5	③	25	③	45	①	65	③	85	④
6	②	26	①	46	①	66	②	86	①
7	②	27	①	47	③	67	④	87	①
8	①	28	④	48	②	68	③	88	①
9	④	29	②	49	②	69	②	89	②
10	②	30	①	50	①	70	①	90	①
11	②	31	③	51	③	71	①	91	①
12	③	32	②	52	①	72	①	92	④
13	④	33	①	53	③	73	④	93	④
14	②	34	④	54	③	74	①	94	②
15	③	35	④	55	②	75	③	95	①
16	④	36	②	56	③	76	④	96	①
17	③	37	③	57	②	77	①	97	③
18	②	38	②	58	①	78	③	98	④
19	④	39	①	59	①	79	①	99	②
20	④	40	③	60	③	80	④	100	①